

市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

2000年

2

月号

平成12年1月25日発行

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net
県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

【NPO室から】

成立したNPO法人は20団体、今月分の申請は5団体です。

昨年12月18日から1月14日までの特定非営利活動法人(NPO法人)の申請は5団体でした。申請中の団体を紹介します。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

三重県市民活動センター運営委員会からのお知らせ。

次回、運営委員会は2月8日(火)です。気軽にご参加ください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

2月～3月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

今回は本の紹介と交流会への参加募集、そして署名運動へのお願いです。

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は7件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

松阪自然探究会代表・松阪シティネット会長 みたにひろたか **三谷博隆** さん

松阪自然探究会の活動のなかで「自然」と「青少年の健全育成」という2つの視点で物ごとを考え、動かしていくと感じた三谷さんが今取り組んでいるのは、分野も地域も越えて、みんなが助け合い、成長していく新しいネットワークづくりです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

【NPO室より】

特定非営利活動法人（NPO法人）申請は5団体ありました。成立した団体はありませんでした。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備置してあります。

●認証申請団体

【37】

- ・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人新しい家族の会ステップ21
- ・申請年月日 平成11年12月27日
- ・代表者の氏名 南出 廣
- ・法人の事務所の所在地 鈴鹿市東磯山2丁目22番1号
- ・縦覧期間 平成12年2月27日まで
- ・認証の種別 設立
- ・定款に記載された目的 この法人は、三重県内を中心に、その近隣地域において、生活支援を必要としている高齢者及び障害者（以下、「要援護者」という）を主体として、特定せず、公平に支援サービスを提供することを基本に、公益の増進に寄与することを目的とする。

【38】

- ・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人南勢テクテク会
- ・申請年月日 平成11年12月27日
- ・代表者の氏名 岡井永光
- ・法人の事務所の所在地 度会郡南勢町船越1791番地2
- ・縦覧期間 平成12年2月27日まで
- ・認証の種別 設立
- ・定款に記載された目的 この法人は、里山を中心とする、南勢町の豊かな自然環境・動植物の保全・保護活動と文化、芸術、スポーツ活動を行うとともに市民活動団体との協働を図りながら、地域住民をはじめとする県民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

【39】

- ・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」
- ・申請年月日 平成11年12月28日
- ・代表者の氏名 粉川一郎 西川壮太郎
- ・法人の事務所の所在地 津市観音寺町445番地の5
- ・縦覧期間 平成12年2月28日まで
- ・認証の種別 設立
- ・定款に記載された目的 この法人は、あらゆる公益に関わる事業者が、その使命を達成する上で必要となる評価等の事業を行うことにより、あらゆる公益に関わる事業者の組織マネジメントの向上や事業の質的向上を支援し、もって、より良い市民社会の構築に寄与することを目的とする。

【40】

- ・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人酒垂会
- ・申請年月日 平成12年1月7日
- ・代表者の氏名 生川幸文
- ・法人の事務所の所在地 四日市市南垂坂町810番地の8
- ・縦覧期間 平成12年3月7日まで
- ・認証の種別 設立
- ・定款に記載された目的 この法人は、地域住民に対して、まちづくり、地域の安全、環境保全及び美化に関する事業を行い、地域に寄与することを目的とする。

【40】

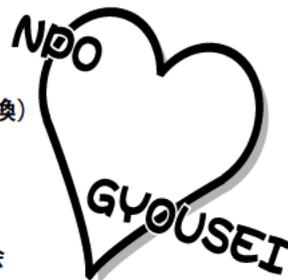
- ・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人三重在宅医療推進機構
 - ・申請年月日 平成12年1月7日
 - ・代表者の氏名 山脇清臣
 - ・法人の事務所の所在地 桑名市桑栄2番地桑栄メイトビル4階
 - ・縦覧期間 平成12年3月7日まで
 - ・認証の種別 設立
 - ・定款に記載された目的 この法人は、市民に対して、保健医療及び福祉行政の変革を広く周知させるべく、これに関する各種情報の収集、事業を行い、保健、医療又は福祉の増進を図る活動に寄与することを目的とする。
- (平成11年12月18日～平成12年1月14日申請分)

NPO&行政プロポーズ大作戦 参加NPO・行政募集! 第1回テーマ「2020年の『大人』のために ～協働でひらく未来～」

- とき／2月27日（日）PM1:30～PM4:30
 - ところ／三重県市民活動センター
 - 参加費／無料
 - 内容／NPOと行政は「よりよい社会を築く」という同じ目標を掲げているはず。しかし、「互いを知り合う場がない。知り合いがわからない」ことが協働を妨げる大きな原因となっています。そこでNPOと行政が互いに知り合うための「お見合い」の場を提供するプロジェクト、「NPO&行政プロポーズ大作戦」が始まりました。第1回のテーマは「2020年の『大人』のために ～協働でひらく未来～」。21世紀を創っていく今の子どもたちに、何ができるのか。子どもに関心のあるNPOと行政職員が集い、ざっくばらんに自分たちが考えている事業計画やしたい活動を出しあって、協働事業を創り上げましょう。
- われわれ「NPO&行政プロポーズ大作戦実行委員会」は、協働をめざすNPOと行政の仲人です。興味のあるNPOや行政の方々の参加を待っています!

【プログラム】

- 1、アイス・ブレイキング
 - 2、お見合い（事業・活動内容の意見交換）
 - 3、懇談会
- 応募締切／2月18日（金）
 - 主催／NPO&行政
プロポーズ大作戦実行委員会



三重県市民活動センター運営委員会次回開催のお知らせ

三重県市民活動センター運営委員会は、市民活動に興味を持っている市民が集まってできた組織です。ワイワイガヤガヤみんなで集まっているいろいろなことをしています。どなたでも参加できますのでお気軽にお訪ねください。

- とき／2月8日（火）PM7:00～PM9:00
- ところ／三重県市民活動センター

・・・ 以上2件の申込・問い合わせ先は

三重県生活課NPO室
514-0004
三重県津市栄町1-954 三重県民サービスセンター4階
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072
E-mail open@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/>

2月～3月に開催される

市民活動に関する 講演会やイベントです

「行政と市民活動との協働を考える研修会」

●とき／平成12年2月1日(火)

●ところ／

松阪会場／三重県松阪庁舎3階33会議室(松阪市高町138)

AM10:00～正午

津会場／三重県津庁舎6階大会議室(津市桜橋3丁目)

PM2:00～PM4:00

●内容／三重県では、生活者起点の県政を新しい総合計画の中で推進していますが、そのひとつとして、福祉、環境、まちづくり、文化、教育、災害救援などの様々な分野において住民による社会的な活動への支援を掲げ、活動を進めているところです。特に、行政とは異なる立場から、社会的な公益を実現しようとする市民活動(NPO)は、これからの社会を支える重要な役割を担うものと考えられており、自主性・主体性を尊重し、役割分担をしながら、対等な関係(パートナーシップ)を築こうとしています。また、今後、ますますそういった市民活動はじめ、企業や行政とがネットワークを回りながら、より暮らしやすい住民参画型の地域づくりを進めていくことが望まれます。そこで今回、地域の実情に合わせた県民局独自の県民局版マイセルフ研修の一環として津地方県民局管内自治体職員を対象に、行政と市民活動との協働を考える機会として研修会を開催します。

【プログラム】

「パートナーシップでもっとうまくいく」～グランドワーク三島の事例に学ぶ～

講師:渡辺豊博さん(グランドワーク三島実行委員会事務局長)

●対象者…津県民局管内県職員、市町村職員及び市民活動関係者

青少年問題シンポジウム

大人が変われば、子どもも変わる

●とき／2月15日(火) 受付PM12:30 PM1:00～PM4:30

●ところ／四日市市文化会館(四日市市安島2-5-3)

●参加費／無料

●内容／未来を担う青少年が心豊かに健やかに育つことを願う大人の輪を広げていくために、「青少年の育成」という同じ目的を目指す人たちがともにこれからの活動について考えるシンポジウムです。

【主なプログラム】

基調講演 (PM1:20～PM2:20)

「子どもが育つ 私が生きていく」 講師:森法房さん(山口県立大学社会福祉学部助教授)

「5時を過ぎれば一県民」をモットーにヒューマンネットワーク集団『人間いきいき研究会』を結成し、地域おこし、国際交流、環境問題、福祉問題、教育問題等の分野で、全国各地の草の根活動家とネットワークしながらさまざまな活動をしている人です。

シンポジウム (PM2:30～PM4:25)

コーディネーター:森法房さん

パネラー:上野達彦さん(三重県青少年健全育成審議会会長)、藤澤和美さん(四日市市子供会育成者連絡協議会会長)、木下裕美子さん(福祉レクリエーションワーカー)、原田哲次さん(四日市市ジュニア

リーダーの会会長)

●問い合わせ先／(社)三重県青少年育成県民会議(一ノ木)

Tel.059-228-2011 Fax.059-225-6194 E-mail

sanseken@alles.or.jp

●主催／ライオンズクラブ国際協会334-B地区、(社)三重県青少年育成県民会議

「薫ing」(かおるいんぐ) 原作者 岡田なおこさんの講演会

●とき／2月19日(土) PM7:00～

●ところ／三重県身体障害者総合福祉センター大研修室(津市一身田大古曾670-2 Tel.059-231-0155)

●参加費／1500円

●内容／岡田なおこさんは、脳性まひによる四肢体幹障害をもちながら普通高校に通った経験を元に「薫ing」という小説を書き、1991年に野間児童文芸新人賞を受賞しました。この本を書いたのは支えられた大勢の人たちへ、お礼をしたくてだったそうです。岡田さんは著書『なおこになる日』の中で「ノーマライゼーションとは障害者を差別しないことではなく、障害者が乗る踏台をみんなが心の中にもつことだ」と書いています。それは、障害の有無にかかわらず、互いの違いを認めてどう生き合うかを考えていくことなのだと思います。人が生きるのは哀しく切ないことが多いです。でも人と人、人と自然、人と動物、お互いに命を生き合うことができればそれは喜びになり、自立した人になりえると思います。ぜひ、子どもたちにもこの岡田さんの講演会を聞いて、共に生き合うことをつかんでいきつけにしたいのです。一人でも多くの人の参加を待っています。

特定非営利活動法人津子どもNPOセンター鑑賞事業(津市文化振興基金助成事業)

「薫ing」(かおるいんぐ)

●とき／3月23日(木) 開場PM6:30 開演PM7:00

●ところ／三重県総合文化センター中ホール

●内容／「みんなが歩く道を私も歩きたい」「みんなの中の私でいたい」と願い、戸田薫は障害を持ちながらも普通高校へ入学します。毎日のように起こる様々なできごとの中で、自分のハンディを目の前につきつけられる薫。「障害」というレッテルをはられる中で、自らも心の中にレッテルをはっていきます。それでも、家族、友だち、先生、地域社会の中で自分の居場所を見つけようともがきます。自分におきること、いつも「ing」で挑戦しながら自立していこうとする姿に共感し、ぜひ子どもたちに見てほしいと企画した作品です。高学年、中高年を中心に会員外の方々にも、たくさん参加してほしいと特別会員券も準備しています。誘い合わせて、ぜひごらん下さい。

●申込・問い合わせ先／514-0002津市島崎町132-40 特定非営利活動法人津子どもNPOセンター Tel.&Fax.059-225-1404

“自然案内人”になりたい市民&学生この指とまれ!

『自然案内人CLUB』第1回ノウハウ盗み会

●とき／2月26日(土) 受付AM9:15 AM9:30～PM12:30

●ところ／三重県環境学習センター(四日市市桜町3690-1

Tel.0593-29-2000) ●参加費／400円

●内容／「身の回りの自然の素晴らしさをたくさんの人に伝えたい!」「伝える方法を学びたい!」という思いを持つ人が集まり、近い将

来“自然案内人”として各人が講座を持てるよう成長を助け合う会です。第1回の披露講座は「たのしく学ぼう花と実・仮説実験授業」。実際に環境教育に携わっている人や仲間のノウハウを盗み合って、自分の好きなテーマについて自力で自然案内講座のプログラムを立て、仲間相手に講座を披露し合います。切磋琢磨して出来上がった自然プログラムを持って三重県中を仲間と講座して回ることを目標に、講座出張先を開拓することにも取り組みます。そして郷土の自然を愛する子どもや大人を増やそうではありませんか。毎月26日に三重県内の様々なフィールドで学びあいましょう。

3月以降の場所・時間・内容については市民活動センターの掲示板を御覧ください。

- 申込方法／必要ありません。現地に来てください。
- 申込・問い合わせ先／伊藤 riyuki@name.kuwana.ne.jp 山田 Tel.0598-26-8270(PM6:00~PM8:00)

【四日市NPOひろば 第9回学習会】 『レッツ・トライ・LETS 人と人をつなぐ “エコマネー”体験 PART2』

- とき／2月26日(土)開場PM1:00 PM1:30~PM5:30
- ところ／なや学習センター3F音楽室
- 参加費／会員800円 非会員1000円
- ※ただ今会員募集中!今年度年会費(通信費)は2000円です。
- 内容／昨年11月に開催したLETS(地域経済振興システム)のワークショップの大好評に応えPART2の開催です。教育、福祉、医療、環境などの問題を考えていくと、根底に貨幣中心の経済システムの矛盾が横たわっていることに気づきます。そんな中で、人と人とが支え合う豊かな関係性が息づく循環型の社会づくりを実践する一つのツールとして地域通貨のもつ可能性に注目する人々がにわかには増えています。LETSゲームは、本やマニュアルを読んでもわかりにくい地域通貨の取引のしくみや効果などをゲーム感覚で楽しく体験しながら学べます。初めての方でもどうぞお気軽にご参加ください。目からウロコの体験ができますよ!
- 募集人数／30人(先着順、定員になり次第締め切らせて戴きます)
- 応募締切／準備の都合上、前日までに申し込みください。
- 申込・問い合わせ先／510-0045 四日市市蔵町4-17 市民活動センター内 四日市NPOひろば Tel.0593-50-0201 Fax.0593-50-0203

ネットワーク のよびかけ

旧四日市を語る会とボランティアによる念願の集大成史 「二十世紀の自然災害 記録と145の証言—地震と風水害—」

『旧四日市を語る会』編集・発行
B5版 300ページ 2000年4月発行予定

20世紀に起きた自然災害それは自然災害だったでしょうか。旧四日市を語る会とボランティアによって編集・発行されたこの本には罹災者による記録と公式記録の両方が掲載されています。この両方を読

み比べることで災害を受けた時の罹災者の動きと行政の活動・支援者の動きが手に取るようにわかります。この本は旧四日市を語る会の自主限定出版・会員頒布が基本になっていますが、購入希望が多いため、希望者には実費でおわけします。書店での販売はありません。

- 料金／本誌2000円、送料など400円
- 予約受付／2月20日(日)締切
- 予約・問い合わせ／510-0097 四日市市八幡町3-2 旧四日市を語る会 Tel.&Fax.0593-53-0632
- 郵便払込口座 00860-0-185900 加入者名 旧四日市を語る会



「環境保全を考える福井・滋賀・岐阜・三重4県県民交流会」

三重県では、3月20日(月)に滋賀県大津市で開催される、「環境保全を考える4県県民交流会」の参加者を募集します。

この交流会は、国内の模範となる環境保全活動・参考事例を講演会形式で紹介し、その後福井・滋賀・岐阜・三重の4県の参加者がテーマごとに分かれ、環境保全について交流を行うものです。なお、交通手段として三重県庁前を午前8時に出発するバスを用意します。

- とき／3月20日(月・祝) AM10:30~PM2:15
- ところ／場所 ピアザ淡海(おおみ)(滋賀県大津市におの浜)
- 内容／講演(AM10:40~PM12:10)
 - (1) グランドワークの手法による環境保全への取り組み 静岡県三島市
 - (2) 市民と行政がともに環境施策を推進(ごみの21種分別等) 熊本県水俣市
 - (3) 里山の保全に向けて市民と行政が協調して対処 埼玉県所沢市交流会(PM12:30~PM2:00)
 - (1) 水環境、(2) 生き物、(3) 緑、(4) ごみ処理や美化活動、(5) 省エネルギー、リサイクル、省資源、(6) 街づくりや暮らし、(7) 大気や地球環境、(8) 環境教育(環境学習)の各テーマに分かれて意見交換や交換意見の紹介を行います。
- 問い合わせ先／三重県環境政策課 Tel.059-224-2309

白塚海岸を保全することを求める署名のお願い

「自然豊かな白塚海岸を今のまま残してほしい」と、私たちは下記のような主旨で、財団法人日本野鳥の会三重県支部の賛同もいただき、昨年11月から署名活動を始めました。地元はもとより、三重県内の自然保護団体にもお願いして、現在署名集約を進めています。護岸工事や砂の流失が進む伊勢湾の海岸に於いて、白塚海岸は、波打ち際から堤防まで段階的に植生が変化する貴重な「成帯構造」を有する広い海岸であり、豊かな昆虫の分布につながっています。またレッドデータブックの絶滅危惧種・希少種に指定された動植物も多数生息しています。この海岸が、流域下水道の浄化センター建設により破壊されようとしています。環境をよくするためといわれている下水道が、身近な砂浜の環境破壊から始まることに、最大の矛盾を感じています。ここに私たちは、白塚海岸を今のまま保全し、環境教育の場として、市民の憩いの場として未来に受け継ぐことを要望します。私たちの活動に賛同していただける方がありましたら、下記へお問い合わせ下さい。

- 問い合わせ先／白塚の浜を愛する会代表 西口恵子 Tel.&Fax.059-231-7170 白塚ウミガメクラブ事務局 森下育代 Tel.&Fax.059-228-2994

フリーマーケット情報

資源のリサイクルと共に、市民活動団体の活動資金集めの場としてフリーマーケットが欠かせないものになっています。市民グループが主催するフリーマーケット情報を教えてください。

【中勢フリーマーケット協会の開催予定】

- 2月27日(日) 鈴鹿弁天山公園 100ブース
参加費/会員1000円、非会員1300円
- 3月19日(日) 松阪中部台公園 150ブース
参加費/会員1300円、非会員A(家庭一般)1500円、B(手作り・セミプロ)1500円、C(仕入れ品・プロ)2500円
- 申込方法/通信欄に日にちとブース数を明記して、中勢フリーマーケット協会口座 郵便振替 00870-0-121921 まで。
- 申込・問い合わせ先/安芸郡河芸町大字中別保2434-5 中勢マーケット協会(若林都史子) Fax.059-245-2536
Tel.(携帯)090-7027-4334(平日PM4時以降にお願いします)

助成金 ニュース

(財)たばこ産業弘済会・ (社)日本フィランソロピー協会 「がんばれNPO!」プロジェクト

- 受付締切/2月10日(木) 消印有効
- 助成の対象となる団体/市民ボランティア活動を推進及びそれらの活動を支援するNPO法人または公益法人。
- 助成の対象となる活動/1.高齢者および障害者福祉の増進を図る活動、2.環境の保全を図る活動、3.青少年の育成を図る活動。
- 助成の額/1件あたりの助成金は対象事業に要する支出額の80%以内。上限額は200万円。
- 応募方法/1月28日(金)までに下記の方法で応募書類を申し込んでください。
(1) 郵送…「応募書類郵送希望」と明記の上、団体名・代表者名・郵便番号・住所・電話番号を記載し、切手(160円分)を貼付した返信用封筒(角型2号)を同封して、下記まで郵送。
(2) 電子メール…「応募書類送信希望」と明記のうえ、団体名・代表者名・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスを記載し、下記アドレスまで。折り返し応募書類(Windows/Excel97)を送信します。
- 問い合わせ先/「がんばれNPO!」プロジェクト事務局(佐々木) 106-0041 東京都港区麻布台2-3-8 丸山ビル7階 (社)日本フィランソロピー協会内 Tel.03-3568-3241 Fax.03-3568-3245 E-mail ANM01388@nifty.ne.jp

(財)河川環境管理財団河川整備基金助成

- 受付締切/2月14日(月) 消印有効
- 助成の目的/河川整備基金助成事業は、国・地方公共団体による河川整備事業などと相まって、その効果を高め事業の効率的推進に寄

与する多様な活動に助成し、河川・ダム・砂防・海岸など(以下「河川・ダムなど」と言う)の整備促進を図るために行う事業です。河川・ダムなどの将来に大きく寄与する公共性の高い事業に対し助成します。今回、誌面では「3,国民的啓発運動」を掲載します。「1,調査・試験・研究」、「2,環境整備対策」については直接お問い合わせください。

【国民的啓発運動】

『1 一般的助成』

- 助成の対象となる団体/地方公共団体、法人、任意団体。
- 助成の対象となる活動/
(1) 河川・ダムなどに係わる副読本などの作成、(2) 河川愛護・環境教育活動、(3) 河川文化講演会などの開催、(4) 水使用の合理化・高度化・水と産業との係わりなどに関する普及啓発活動、(5) メディア広報、(6) 河川に係わる国際交流活動、(7) 流域交流、(8) その他
- 助成の額/全国規模で行うものを1件につき1000万円以内。地域的な規模で行うものは1件につき500万円以内。

『2 継続助成』

- 助成の対象となる団体/法人、任意団体。
- 助成の対象となる活動/1の一般助成の対象となる諸活動を継続的に行う非営利団体の運営費。再度の助成は認めません。
- 助成の額/原則5年以内で各年50万円以内。
- 問い合わせ先/(財)河川環境管理財団名古屋事務所(高曾根良博) 450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル
Tel.052-565-1976 Fax.052-571-8627

平成12年度クリーンキャンペーン 第13回環境美化功労者表彰 『地球ピカピカ大賞』

- 受付締切/2月15日(火)
- 表彰の目的/クリーンキャンペーンの一環として、地域の水質保全と環境美化向上に特に顕著な功績のあったものの功に報いるため表彰状ならびに副賞を贈呈し、もって今後の活動のより一層の活性化に寄与することを目的とします。
- 表彰の対象となる団体/具体的に、次の各要件を満たしていることとします。
1. 原則として、小学生10人以上のグループ・団体または学校。
2. 活動年数が3年以上で定期的に自主的な実践活動を実施していること。
3. 表彰時(平成12年6月)に活動の継続が見込まれること。
※過去に本表彰を受けた者はその後3年間は選考の対象としません。
- 表彰の対象となる活動/地域の水質保全と環境美化に、著しい功績のあった小学生の活動であって、次のいずれにも該当しその功績が他の模範となり、推奨できるものを対象とします。
1. 多年にわたり、水にかかわる環境保全や創出と地域の環境美化に尽力したもの。(例:河川・小川・池・河原・河川敷等や、公園、公共施設等の保全や美化)
2. 地域に根ざした活動を通じ、地域住民の環境美化の意識等の向上に向けた啓発普及に貢献した者。
- 功労記念品・副賞/表彰状のほか、功労記念品として図書券またはギフト券10万円分相当、および副賞として団体構成者数相当のクリーンキャンペーン化粧石けんを贈呈。
- 応募方法/専用の「推薦書」またはこれに類似の用紙に必要事項を記入の上、「小さな親切」運動三重県本部に送付。



申込・問い合わせ先 / 「小さな親切」運動 三重県本部 514-8666 津市岩田21番27号 株式会社百五銀行内 Tel.059-223-2401 Fax.059-223-2390

主催 / 日本石鹸洗剤工業会
後援 / 環境庁(予定)

協賛 / 全国化粧品日用品卸連合会、社団法人「小さな親切」運動本部

米日財団 日米相互理解プロジェクト 助成(人物とアイデアの交流)

受付締切 / 2月中旬

助成の対象となる団体 / 無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。

助成の対象となる活動 / 人物とアイデアの交流:日米両国民が互いに相手国を理解するための機会を提供するもので、リーダーシップ交流、地域交流、研修・セミナー、翻訳などのプロジェクト。

応募方法 / 直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。

問い合わせ先 / 米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2 霊南坂ビル1F Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128 ホームページ <http://www.us-jf.org>

全労済高齢社会問題活動・研究助成

受付締切 / 2月29日(火)

助成の目的 / いま日本では人口の高齢化が進んでおり、高齢社会に対応する社会システムをつくりあげることが緊急の課題になっています。高齢社会への対応は、政府の施策から個人の生き方にいたるまで、さまざまなレベルで求められていますが、全労済では「介護問題」を始めとし、高齢者福祉の向上に大きな効果が期待できる民間の活動および研究に対して助成を行います。

助成の対象となる団体 / 法人格の有無は問いませんが、公益を目的とした団体であり、組織や事業の運営についての重要事項、代表者および所在地が定まっていることが必要。応募は活動または研究助成のいずれか1件に限り、前回助成を受けた団体も応募できます。

助成の対象となる活動 / 民間団体およびボランティアグループ(研究所グループ)による、次のような活動および調査・研究。

1. 活動

- (1) 高齢者福祉の向上に大きな効果が期待できる活動。
- (2) 高齢者組織(当事者グループ)の活動で社会性のあるもの。
- (3) その他この助成事業の目的に沿うと判断される活動。

2. 研究

「高齢者福祉の向上」という目的に沿って市民の行う調査・研究

助成の額 / 予算総額は4000万円。1件あたりの上限は原則として100万円とします。

応募方法 / 所定の申込書を下記まで提出もしくは送付。封筒の表には必ず「助成申込書在中」と朱書してください。

問い合わせ先 / 全労済三重県本部 514-0004 津市栄町4-259-1 Tel.059-227-6031 Fax.059-225-5069

三菱財団社会福祉事業並びに研究助成

受付締切 / 3月3日(金)

助成の対象となる団体 / 日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有する者(国籍等は不問)。営利目的の企業等並びにその関係者は対象外。

助成の対象となる活動 / 現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業(原則として法人に限る)。開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究(個人・法人等いずれも可)。

助成金の使途については「開拓的・実験的・事業ないし研究」を基軸とした調査研究費、施設費(建設、設備資金)、施設以外の経費(職員研修費等も含む)。従って、単なる施設建設、設備・機器購入等のみを目的とした申込は、対象外となりますのでご留意下さい。

また、ここでの「開拓・実験性」については、内容上特に具体性のあるものに限定されますが、福祉現場での「実践的、草の根的」活動に基づくものも、充分評価されます。

助成対象事業の期間 / 1年を原則としますが、必要やむを得ぬ場合、「2か年継続」も認められます。

(2か年度分の助成申込を一括査定、助成金は2か年で使用する。)

助成の額 / 総額約9000万円を予定。1件宛の金額は特に定めなし。(採択予定件数約15件程度)

応募方法 / 財団所定の申込書に必要事項を記入し下記まで。なお要領・申込書用紙は、宛先記入済の角2返信用封筒に140円切手貼付したものを同封し下記まで請求いただくか、ホームページにてダウンロードしてください。また、当方より本件助成周知先宛既に送付済のもの、あるいはそのコピーを使用頂いても結構です。

問い合わせ先 / (財)三菱財団 100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号三菱ビルディング15階 Tel.03-3214-5754 Fax.03-3215-7168

ホームページ http://www.dias.ne.jp/m_zaidan/

書式ダウンロード http://www.dias.ne.jp/m_zaidan/mzd710j.htm

(財)安田火災記念財団 社会福祉(NPO法人設立資金)助成

受付期間 / 3月17日(金)~4月17日(月)当日消印有効

助成の目的 / 財団法人安田火災記念財団(理事長後藤康男)は、平成11年度に社会福祉団体が、NPO法人を設立する場合の資金助成を全国100団体に実施しましたが、時宜に適した助成であり、資金の使用を問わない内容であったことなどから好評を得たため、平成12年度も同様の助成を次の要領で実施いたします。

助成の対象となる団体 / 障害者・高齢者福祉の活動を行う団体で、平成12年度中にNPO法人の設立認証申請を行う予定のもの。

助成の額 / 1件30万円(総額未定)法人設立に必要な費用であれば、使途は問いません。

応募方法 / 応募要領・申込書を、送付先明記の上、財団事務局までがき又はFaxで請求。ホームページからの印刷(ダウンロード)も可。所定の申込書に内容記載の上、下記に郵送。

問い合わせ先 / (財)安田火災記念財団 160-8338(番号のみで郵送可)安田火災記念財団NPO係

Tel. 03-3349-3130 Fax.03-3349-3133

ホームページ <http://www.yasuda.co.jp/foundation/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人や、その他の法人などの情報を収集し、その活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。そのホームページには多くの助成金情報が集まっていますのでご紹介します。

<http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。伊勢志摩NPOネットワークでも活躍している伊勢市の濱田さんが紹介してくれたのは、伊勢のお隣、松阪で市民活動のネットワークをつなぎ始めた三谷博隆さんです。

年間運営予算は1000万円!その内容は…?

……まず、代表もしておられる松阪自然探究会のことを教えてください。

活動をスタートしたのは97年の8月です。自然観察会の日程は少し変則なのですがだいたい第2、3日曜日の10時から3時までです。フィールドは松阪市郊外の松阪森林公園を中心とした地域です。

……運営形式は?

現在、会員数は106人。その内、92%は子どもです。会費は正会員は3000円、青少年会員2000円、家族2500円になっています。あと、イベントに参加する人たちを準会員と呼んでいます。会費はイベントごとに200円。あと、林間教室の参加料などで運営しています。

……年間運営予算は?

1000万円近くありますね。林間教室だけで800万円近くあるんですよ。助成金をもらって事業をすると200万円くらいのことをするので、それくらいになりますね。

……林間教室は年何回くらいありますか?

年3回の恒例行事です。先日長野の伊那スキーリゾートで2泊3日の「長野林間教室」を開きました。参加者数は71人でした。

……呼びかけはどうやって行ったのですか?

学校でチラシを配布したり、ジャスコの各店舗に置かせてもらったりして募集をかけました。19校から参加がありました。常連の子もいますがほとんどが初参加です。

……内容は?

スキー教室と、クラフト教室。仲間づくりということで屋内運動会もやりました。あと、自然観察会も。

松阪自然探究会代表・松阪シティネット会長

**三谷博隆**さんに聞く

……なぜ年3回も他県へ出かけるのですか?

松阪の自然だけでなく、いろんな地域があることを知って欲しいからです。その土地の生活環境を勉強することも大事だし、いろんな地域の子もたちと接する機会を持つことでいろんな交流が生まれるでしょう。「うちのところで見られる魚はこんなのだよ、鳥はこんなもの」という風に話したり、互いに仲良くなれば行き来も生まれますよね。

……子どもたちとはどんな風に接しているのですか?

子どもたちは子どもたちという考えをして、できるだけ干渉させ

ん。せっかく親から離れたのに干渉して縛ってしまうのも可哀相ですから。私が言うのは「とにかく疲れの残らないように休みなさい」ということだけです。疲れが残ったら結局は自分が大変なだけだから。可哀相だけど、うちは小学校の時から自己管理をさせるんですよ。

……子どもたちの聞きわけは?

ある程度、聞きますよ。できないと班の連帯責任で「はい、いらっやい。なぜできないの?」ってことになりますから。

……70人というと学校の1クラスより多いですね。

面白いことに気づいたんですが、これって学校がバラバラだからできるんですよ。毎日顔を合せている70人だととてもまとまりがつかないけど、その辺がうまくいく秘訣なのかな。

……子どもたちに対する話し方とか勉強になるでしょう?

なりますよ。それに子どもたちが何か発見した時の顔が嬉しいですよ。子どもたちが生き生きした姿が見えるのは。

……他にはどんな活動をしていますか?

赤米と黒米を自然学習田でつくっています。農家の方から4年ぐらいの契約で、3反借りました。

自然好きと子どもの成長が結びつく

……元々は自然が好きで始めた活動が青少年の健全育成の方にも広がっていったんですね。

子どもたちに自然の面白さを伝えようと思ってやっていたらそうやっていったんです。ちょうど、学校が週休2日制になるという頃で、その時になって始めるのでは遅いから今のうちに子どもたちのために活動を広げようと思って。今は学校で問題がいろいろ起こっているでしょう。それを少しでも改善できるように協力できて、地域の人とも仲良くなれるならどんどん取り組んでいかなければと始めたんです。……自然観察系というと詳しい人が集まって…というイメージがありますが?

「普通なら専門家が来て、説明したりするのにあんたの所は違うんやな」って言われたことがありますね。違うといえば違うけど、私は「とにかく遊ばばいいんちゃうの?」って思うんです。今の子どもたちは遊ぶことができやんのやから遊ぶことを教えて、そのなかから勉強の方法を見つけたらいいと。そうすれば自然観察をして、自分で調べようという気になってくれると思うんです。今、不登校の子どもたちを自然のなかに連れていきたいと考えているのです。

……遊びが勉強につながるんですね。

例えばバードウォッチングをしていたとしてもすぐに名前は教えません。どんな鳥なのか特徴がわかって、名前を知りたいと思えば自分で調べるでしょう。活動全部が勉強なんですよ。算数、国語、社会、理科、図工…。あらゆる要素が入ってます。スキーだって勉強ですよ。何かができたら、それが自信になる。続けることで持続性もつきますよ。

……環境と子育て。両方の視点があることが発展していくポイントなんですね。

うちが環境だけで走っていたら今の会員数はないと思います。現状

維持ではいたくないんです。もっと拡げていきたいと思っています。……そうするとスタッフを増やさないと大変ですね。これからスタッフを増やします。「やってなんぼ」の気持ちで進んで、そのなかで優秀なスタッフを捜したいなど。地域住民がスタッフであつてもいいと思うんです。実は新しい自然観察などの拠点の話が進んでいるのですが、こちらは地域の方がスタッフとしてサポートしてくれることになっています。私たちだけではあまりに広い場所なので世話できません。今まで地域の人が出会いでやっていた草刈りなんかには私たちも参加して行おうと。とにかくここで子どもたちが遠足できるようにしたいんですと話しました。

……参加者の子どもたちが大きくなったらスタッフになるのでは？そうですね。今、学校をひっぱっていこうという子ができてくればもっと変わってくると思うんです。文部省がゆとりのある学習計画をと言ってもそういう子がいないとできませんから。みんなが突出したものがいないままではだめだと思うんですよ。

「やってなんぼ!」とにかく動く

……現在、松阪シティネットの会長をされていますが、ネットワークをつくらうと言い出したのは三谷さんなのですか？言い出したのは松阪青年会議所のメンバーです。4月ぐらいに一緒にしようじゃないかと声をかけてもらって、話をしているうちにこれは組織にしようということになったんです。

……例会は？

月1回です。曜日とかは不定期なんです。とにかく役をしているものがみんな結構忙しいもので、その日程を先に詰めて置いて、それから全体会の日を決めるんです。

……主要なメンバーは？

災害ボランティアネットワーク松阪、エールの会、カナダダンススクール、松阪子ども劇場。それに市役所の総務課や県民局のNPO担当などの行政や商店街の人たちが加わっています。まだまだ増やしたいですね。

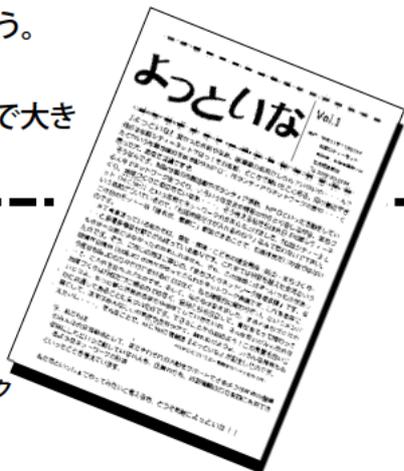
……どんな集まりなんですか？

拘束は何もない緩やかな繋がりです。要は情報交換の場をみんなで作らうよということなんです。助成金なんかを申請したいという時にどうやれば上手く申請書を書くことができるかとか、いろいろ勉強しながら進んで行きたいなと思っています。

……松阪で活動しているグループはそういう横断的なネットワークが必要だと考えていたのですか？

津や四日市、伊勢ではできてきているのになぜ松阪だけないのか？と個人的には思っていました。あと、横断的でないと少人数で活動しているグループなどが潰れやすいんです。せっかく良いことをしているのに「もう、やめた」となってしまうのでなく、なんとか一緒にやれないかと。競争ではなく、協力しあうことは協力しようということなんです。同じ目的で活動しているならひとつにまとまることで人も経費も有効に使えるでしょう。なおかつ、情報交換もしよう。それで年に1

競争ではなく、協力しあう。
なおかつ、情報交換も。
そして年に1回、みんなで大きなことをやれたら……



松阪シティネットワークの会報「よつといな」。



松阪自然探究会「長野林間学校」のスキー教室。

回、みんなで大きなことをやれたらと考えています。

……どんなことをするのですか？

津で行われている「まちづくりコレクション」の松阪版を考えています。場所は現在、交渉中。虫が見えて、ザリガニ釣りができて…。そんな企画にしたいですね。去年は津市の里山で行われた「まちづくりコレクション」に参加したのですが、実は下見も兼ねていたんですよ。……シティネットでやろうとしていることは、これまでやってきたことの拡大版のようなところがあるんですね。

松阪自然探究会の活動を環境系と青少年育成の2つの視点でしていますから、その応用というか。活動を続けているうちに松阪から地域外へも拡がっていったし、こうなったらついでだと(笑)。だんだん拡がってしまったんですよ。例えば、子育て系の人たちが良い遊び場を探していて、ネットを通じて知ったということがあっていいと思うんです。それが初めの一歩になって、環境や子育て、福祉やバリアフリーとこれまで自分の分野じゃないと思っていたことも考えられるようになると思います。

……シティネットのなかで活動が具体的に生きていくんです。シティネットのなかで今、松阪子ども劇場は新しい試みをしています。NHKの番組に著名な人々が自分の母校に出向き、現在の仕事などについてワークショップ形式の授業を展開するという「ようこそ先輩」というのがありますが、この形式を取り入れたんです。シティネットの中から講師を選んで子どもたちとふれあうんですよ。私も自然観察というジャンルで講師として呼ばれました。

……グループをまとめていくのは大変ではないですか？

自分が動くことで、「あ、やっているんだな」と思ってもらえれば。とにかく挑戦ですね。そして「これからこうなりそうだから、どうしよう?」とみんなで話し合わなくてはと思います。うちのノウハウも提供するし、みんなのノウハウも吸収していいとこりをする。それがネットワークの良いところでしょう。それに他の人の活躍を見ていると「自分もまだまだできるぞ」と思うんです。それが私の活力源ですね。

松阪自然探究会

住所/松阪市山室町190-88 Tel.0598-21-9415

松阪シティネット

住所/松阪市高町138 三重県松阪庁舎 生活環境部内

Tel.0598-50-0504 Fax.0598-50-0522

三谷博隆さんはこの人を紹介します。

小山 充(こやま みつる)さん。

地元の山への登山を目的とした趣味のグループから、登山道の整備や自然保護など環境ボランティアへの分野へ拡がりを見せる「南勢テクテク会」。小山さんは事務局として活動を支えています。

編集後記

2000年を迎え、早いものでもうひと月が過ぎようとしています。市民活動グループの皆さんも新たな気持ちでそれぞれの活動に取り組んでいるのではないのでしょうか?今後、開催を予定しているイベントなどがありましたら、ぜひ市民活動ニュースにお知らせください。もちろん、ご意見、ご要望もお待ちしております。郵送、ファックス、E-mailなどで気軽にご連絡を。